◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

前月よりも落ち込み、前年比98.1%と前年を下回った。外出自粛要 請がなく、外出が増えたことが、主食に限らず巣ごもりでの食品需 要を押し下げたと推察される。

菓子パン・調理パン」:値上げの影響により、販売金額が伸長した と見て取れる。

「乾麺」: そうめんの販売が堅調だったことに加えて、そばやうどん の値上げの影響も見て取れた。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
主食 TOTAL	98.1	-1
米		
米飯類		
食パン		
菓子パン・調理パン	104.7	-2
シリアル類		
袋インスタント麺		
カップインスタント麺		
乾麺	101.5	-6
生麺・ゆで麺		
スパゲティ		
マカロニ類		
小麦粉		
てんぷら粉		
唐揚げ粉		
パン粉		
プレミックス		
	•	

前月よりも落ち込み、前年比97.3%と前年を下回った。冷凍食品は、 前年を上回ったものの、値上げの影響もあり、販売個数の伸びは鈍 化しつつあると見て取れる。

「冷凍水産」: 好調が続いているが、巣ごもり需要縮小の影響を受 ナ、勢いは弱まりつつある。

「冷凍農産」:勢いは弱まりつつも、ブロッコリーやほうれん草などの 野菜類が好調を維持。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
加工食品① TOTAL	97.3	-1.0
春雨・くず切り		
こうや豆腐		
海苔		
ふりかけ		
お茶漬けの素		
まぜご飯の素		
カレー		
シチュー		
パスタソース		
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁•吸物類		
調理用スープ		
冷凍水産	109.0	-13.0
冷凍農産	103.9	-1.8
冷凍調理	100.5	-2

前月よりも落ち込み、前年比94.7%と前年を下回った。 「マヨネーズ」: 値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売 容量は落ち込んでおり、買い控えも起きていると推察される。 サラダ油・天ぷら油」:値上げの影響で販売金額は伸びているもの の、販売容量は落ち込んでいる。とりわけ、キャノーラ油は値上げ 幅が大きく、販売容量の落ち込みが見て取れた。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
調味料 TOTAL	94.7	-1.
醤油		
味噌		
食塩_		
料理酒		
砂糖		
低カロリー甘味料		
シロップ類		
蜂蜜		
ソース		
ケチャップ		
マヨネーズ	107.7	6.0
ドレッシング		
香辛料		
エッセンス類 焼肉シャブシャブのタレ		
食酢		
ほん酢		
本みりん		
みりん風調味料		
風味調味料		
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素		
サラダ油・天ぷら油	112.5	-6.0
ゴマ油		
バター		
マーガリン類		
チーズ		
ジャム・ママレード		

※網掛け

前年比 105%超:

前月よりも落ち込み、前年比95.2%と前年を下回った。 「和風食品」: 味付き玉子や鯛焼きの好調が継続。手軽におかずや おやつを取れることから、人気となっていると推察される。 「魚肉ソーセージ」:値上げの影響により、販売金額が伸長したと見て

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
加工食品② TOTAL	95.2	-0.8
魚介類缶詰 野菜缶詰 フルーツ缶詰		
畜肉缶詰 パウチ入り食材 和風食品 洋風食品 中華風 2	102.1	-1.3
高肉ハム 高肉ソーセージ 魚肉ソーセージ	101.9	7.3

加工食品(3

前月よりも落ち込み、前年比96.8%と前年を下回った。すべてのカテ ゴリーで前年割れとなっており、巣ごもり需要が縮小する中、和食系 の加工食品が苦戦していることが見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
加工食品③ TOTAL	96.8	-1.5
かまぼこ		
ちくわ		
はんぺん		
揚げ物		
納豆		
煮豆		
佃煮		
もずく・めかぶ		
一位和		

前月よりも落ち込み、前年比98.1%と前年を下回った。 「キャンディ」: グミの好調がけん引。 グミは、家庭用だけではなく、外 出時や出勤時の小腹満たし需要でも人気となっていると推察。 「栄養バランス食品」: 新商品の寄与に加えて、外出増による小腹満 たし需要増加の影響もあると考えられる。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
菓子 TOTAL	98.1	-0.0
チョコレート		
キャラメル		
キャンディ	107.6	1.5
チューインガム		
ビスケット&クラッカー		
スナック		
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子		
学養バランス食品	109.2	5

前月よりも落ち込み、前年比98.4%と前年を下回った。

「ベビーフード」:外出増の影響により、伸長したものと考えられる。 「レギュラーコーヒー」: 値上げの影響で販売金額が伸びているもの の、販売容量では落ち込みが見られた。外出増も需要を押し下げた と考えられる。豆タイプは、勢いは弱まりつつも販売容量が増加して おり、本格化志向の高まりが見て取れる。

カテゴリー	金額削平氏 2022年5月	即月左 2022年5月
嗜好品 TOTAL	98.4	-2.4
アイスクリーム デザート類		
ベビーフード	105.5	1.2
インスタントクリーム フレッシュクリーム ホイップクリーム インスタントコーヒー		
レギュラーコーヒー	105.9	-1.8
紅茶 ココア 日本茶 麦茶 中国茶		

前月よりも伸長し、前年比100.6%と前年をやや上回った。

「乳酸菌飲料」:ストレス緩和等の効果を訴求する、機能性表示食品 の商品の好調が続いている。

「果汁飲料」:ビタミン補給と熱中症対策の効果を訴求する新商品の 寄与により伸長。 「スポーツドリンク」: 外出時の水分補給に加えて、ワクチン接種時の

副反応対策として、需要が高まったと考えられる。 「栄養ドリンク」:外出増により、外出時の栄養補給の需要が高まった と推察。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
飲料 TOTAL	100.6	1.3
牛乳		
ヨーグルト		
乳酸菌飲料	119.9	2.1
豆乳		
100%ジュース	100.8	-1.6
果汁飲料	112.5	19.2
トマトジュース		
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー		
炭酸飲料	103.3	4.1
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶	105.8	0.9
スポーツドリンク	116.7	-4.1
美容・健康ドリンク	102.2	8.0
栄養ドリンク	110.6	9.5
ミネラルウォーター類	107.0	-1.6
可 配合小公	102.4	2.2

前月よりも落ち込み、前年比92.3%と前年を下回った。すべてのカテ ゴリーで前年を下回っており、外出増により家飲み需要が縮小したも のと見て取れる。

	カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
1	アルコール TOTAL	92.3	-2.5
	ビール類		
	ウイスキー		
	ワイン		
i	日本酒		
1	焼酎		

前月よりも落ち込み、前年比98.0%と前年を下回った。 「カビ防止剤」:「お風呂場に置くだけで防カビ対策ができる」と訴求す

る新商品の寄与により伸長。

「絆創膏」:外出増により、けがをした際や備えとしての需要が高まっ

「使い捨てカイロ」: 目元や耳を温める商品がけん引。セルフケア需 要の高まりが見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
日用雑貨 TOTAL	98.0	-2
歯ブラシ	101.8	-0
歯磨き		
マウスウォッシュ	102.4	-0
義歯用剤		
洗濯用洗剤	102.8	1
中性洗剤		
漂白剤	101.4	-1
柔軟剤	100.7	-1
台所用洗剤		
住居用クリーナー	100 5	0
トイレ用クリーナー バスクリーナー	100.5 102.7	−0 −2
パイプクリーナー	102.7	-2
家庭用手袋		
たわし・スポンジ		
水切り袋		
殺虫剤		
防虫剤		
カビ防止剤	136.7	3
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤		
ラッピングフィルム		
アルミホイル		
食品包装用品		
アルミガスマット		
ティッシュペーパー トイレットペーパー		
ペーパータオル	101.2	-0
ぬれティッシュ	101.2	-0
使い捨て紙クリーナー		
紙おむつ		
大人紙おむつ	105.6	1
生理用品	102.0	i
	110.0	12
使い捨てカイロ	111.2	5
綿棒		

前月よりも落ち込み、前年比99.3%と前年をやや下回った。

「キャットフード」:価格帯の高いおやつタイプが好調で、家族の一員 としてキャットフードにかけるお金が増加しているものと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
ペット TOTAL	99.3	-1.6
ドッグフード キャットフード	102.7	-1.1
ペット田品		

前月よりも落ち込んだものの、前年比100.8%と前年をやや上回っ

-。 シャンプー」:うねり毛へのケアを訴求するものなど、高価格・高付 加価値の商品の好調が見て取れた。

「アウトバスヘアケア」:セルフケア需要の高まりか、ヘアオイルの好 調が継続。スプレーやワックスも前年を上回っており、外出時の需要 が回復しつつあると見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
石鹸・ヘアケア TOTAL	100.8	-0.
石鹸		
入浴剤		
シャンプー	103.2	0.
ヘアーリンス	102.5	1.
ヘアートリートメント		
アウトバスヘアケア	112.0	2.
ヘアーカラー		
育毛トニック		
制注剂		

前月よりも伸長し、前年比105.9%と前年を上回った。 おしろいや眉目料などメイクアップ化粧品がとりわけ伸長しており、 外出増による影響と推察。

パックは、紫外線による肌のダメージをケアすることを訴求する商品 が好調で、外出増の影響もあると考えられる。

金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月	
105.9	4.0	
103.6	0.2	
107.8	6.1	
101.2	2.7	
103.1	9.0	
111.6	2.5	
101.1	8.8	
105.6	8.8	
103.4	1.8	
113.2	-3.4	
104.1	-73.3	
109.3	2.9	
106.3	2.0	
	105.9 103.6 107.8 101.2 103.1 111.6 101.1 105.6 103.4 113.2 104.1	

前月よりも落ち込んだものの、前年比102.2%と前年を上回った。 「ミニドリンク剤・胃腸薬・整腸薬」:外出増により、需要が高まったと

「鼻炎治療剤」:2022年は花粉の飛散開始時期が遅れたことで、花粉 の飛散量が前年同月を上回り、需要が高まったと推察。

「解熱鎮痛剤」: 前年同月にワクチン接種の副反応対策として需要が 高まった反動があり、勢いは弱まりつつも、需要の底堅さが見て取れ

カテゴリー	金額前年比 2022年5月	前月差 2022年5月
医薬品 TOTAL	102.2	-1.1
コンタクト用剤	102.7	1.8
マスク	100.1	-3.
ミニドリンク剤	108.3	6.4
漢方薬		
総合感冒薬		
鼻炎治療剤	123.0	-25.
解熱鎮痛剤	105.8	-15.4
鎮咳去痰剤	104.9	3.
口腔用薬	108.5	-0.
胃腸薬	108.5	6.
整腸薬	107.6	4.
外用鎮痛消炎剤	100.9	5.
皮膚用薬		
目薬	106.1	-5.
健康食品	103.2	1.

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。

利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。 また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。